

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域福祉センターデザインビルド型小規模ESCO事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	横山 友二			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域福祉センター利用者	意図	ESCO事業により施設環境を向上し、環境負荷やコスト削減を果たす。
事業内容	地域福祉センターの空調・照明・ボイラー等をESCO事業により更新することで、快適で安定した施設環境の提供が可能となるだけでなく、機器保有のリスクの移転、契約による光熱水費削減の保証、さらに環境負荷の削減ができる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度にボイラー更新、浴室改修、雨漏りを含めた改修工事をESCO事業と抱き合わせで実施し、ボイラー、浴場、雨漏り工事に相当する改修分の支払いを平成26年度中に行った。平成27年度から平成39年度までは本来のESCO事業委託費を償還払いする。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		削減検証額		2,703,083	2,776,502	円	
	電気使用量	108,179	76,910	83,701	kwh		
	ガス使用量	13,812	17,751	18,749	m ³		
	上下水道使用量	8,134	7,515	7,012	m ³		
	利用者数	11,466	11,737	12,419	人		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 削減保証額は1,913,000円で、平成28年度削減検証額は2,776,502円と上回っていることから削減が達成されています。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		21,036,480	9,744,660	9,644,910			
事業費(b)(円)		19,999,980	8,615,160	8,615,160			
うち一般財源		19,999,980	8,615,160	8,615,160			
職員給与費(c)(円)		1,036,500	1,129,500	1,029,750			
人役・職員(人)		0.15	0.15	0.15			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	必要以上に光熱水費が上昇しないよう節電、節水の意識をもって、管理事務に努めるよう指定管理者に助言指導を行う。	取組の課題	光熱水費の削減については、当該ESCO事業のみならず、指定管理者にも節電、節水等により省エネに努めてもらう必要がある。
今年度(H28)に実施した取組	指定管理者に対し、必要な助言指導を行い、利用者の快適性を向上させた。また、光熱水費の削減に努めるよう助言した。	今後の改善計画	指定管理者に対し、必要な助言指導を行い、利用者の快適性を維持しつつ、光熱水費の削減を図る。